



全国大会を目指しスタートしました

令和元年5月11日(土)～13日(月)を中心に仙南総体が開催され、**バスケットボール女子**の8連覇を始め、多くの運動部が優勝を勝ち取ってきました。県総体では、昨年度インターハイ出場の**弓道部男子**、東日本大会で3位に入賞した**弓道部女子**、新人東北大会に出場した陸上競技部競歩の**宮崎颯跳**(3年・富沢中出身)、女子やり投げの**高橋真理**(2年・八軒中出身)が県シード選手、剣道女子個人の**相澤なづな**(3年・名取二中出身)が第2シードとして活躍が期待されています。北高生「**ON YOUR MARK!!**」

県総体に向けての抱負 剣道部 相澤なづな(3年・名取二中出身) 女子個人第2シード

私は、団体戦で県ベスト4を仲間と共に勝ち取り、個人でももう一度決勝の舞台に立つことを目標としています。これまで共に努力してきた仲間、ご指導いただいた先生方、いつも支えてくれる両親に恩返しできるよう精一杯頑張ります。大会まで少ない日数ですが、一日一日を大切に仲間と共に努力していきます。応援よろしくお願いします。



共に頑張りましょう 生徒会長 半田耕大(3年・富沢中出身)

新年度が始まり生徒の皆さんは、気持ちも新たにそれぞれの目標に向かって努力していると思います。今年度、私は3年生であり生徒会長という立場から目標を掲げました。3年生にとって将来を左右する年であり、すでに進路目標を定め、動き出している人と、これからじっくりと考えていこうとしている人がいると思います。その中には、不安やプレッシャーを抱えている人もいないのでしょうか。私は、今年一年視野を広げ、周囲の人たちに気配りのできる人でありたいと思っています。周囲の人と積極的に関わり、その中で様々な人たちと触れ合い、いろいろな考えを知ることにより視野を広げることができると考えています。そして私は何事にも挑戦していきたいとも考えています。自分がやりたいと思ったことはもちろんですが、誰もがやりたくないと思うことにも積極的にチャレンジしていきたいと思っています。それによって自分の物事に対する感じ方に変化が現れてくることを期待しています。また、このことが自己の進路決定に大きく役立つことと信じています。進路等のことで困っている人を見たらプレッシャーにならないように自分ができることで協力したいと思います。一人ひとりが明日への希望と共に、それぞれの花を大きく咲かせることのできる一年になれば良いと思っています。共に頑張ってください!!



単独公演を開催して

5月5日(日)にエルパーク仙台を会場に演劇部が単独公演を開催しました。「I am where I am here」(私はここにいます。ここにいないのが私)ある少女の追憶の物語「LEAVES」を公演しました。ご来場いただきました皆様ありがとうございました。

演劇部部長 小野菜花(3年・岩沼中出身)

私たち演劇部が、初めての単独公演を行いました。公演開催が決まったときは、初めてのことに挑戦する嬉しさと緊張感にあふれていました。コンクールとは違い、パンフレットやチケット等を自分たちで作成したり、カーテンコールを考えたりすることがとても楽しい時間となりました。舞台監督の体調不良や、様々なハプニングの連続でしたが、戯曲「LEAVES」の上演で多くのことを学ぶことができました。これからは次の目標に向けて頑張っていきたいと思っています。ご来場いただきありがとうございました。



プロ野球楽天全校応援観戦を行いました

5月15日(水)

楽天生命パーク宮城球場で東北楽天ゴールデンイーグルス vs 北海道日本ハムファイターズのカードを全校で応援観戦しました。試合は延長戦に入り、1点を競う好ゲームとなり、生徒は、1球1球に息をのんで見守り、大きな声援を送り、



最後は好走塁に歓喜の声が響きました。生徒にとってこの一日は、友達との交流をはかり、最後まであきらめないことの大切さを学び、集団が一つになる瞬間を経験することができました。ご招待いただきました株式会社楽天野球団の皆様と素晴らしい試合を魅せていただいた選手の皆様に感謝申し上げます。

学校公開を行いました

5月13日(月)～17日(金)の1週間、学校公開を行いました。近隣中学校の先生方や、高校受験を控えている保護者、地域の皆様、本校の保護者の皆様等に生徒の授業の様子はもちろん、校内の生活環境、学校食堂の味見等、様々な校内の様子をご覧いただきました。ご来校いただいた保護者からは、「校内が非常にきれいで、整然としている」と、お褒めの言葉をいただきました。ご来校いただきアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。



今月は身近なところで本校に事務職員として勤務二年目の高橋寛亘様をインタビュしました。高橋様は、山形県河北町の出身で山形大学工学部を卒業後、宮城県職員として本校に昨年度着任されました。現在二十四歳で本校教職員の中で、一番若い期待のホープです。



名取北高等学校 主事 高橋寛亘

Q 今のお仕事を始められたきっかけは？

A 学生時代には、プラスチック関係の研究をしていました。その頃は、このまま研究職に就くのだらうなと思っていたのですが、自分が本当にやりたい事って何だろうと考えるきっかけがありました。その頃にやっていた塾講師のアルバイトや児童館でのボランティアなどを出し、学校に携わる仕事をしたいと思うようになり、今の仕事に就きました。

Q 今のお仕事の楽しさや魅力は？

A この仕事に就きまだ一年です、まだまだ知らないことは多くありますが、生徒の皆さんと関わって日々仕事ができる、それが一番の魅力だと感じています。

Q 今のお仕事の意義は？

A 先生方や生徒の皆さんのことをサポートする「縁の下の方たち」であることです。

Q 日頃から心がけていることは？

A 相手を思いやる想像力です。相手のことを考え、行動することを意識しています。

Q 北高生の印象は？

A 明るく元気な生徒が多い印象です。お昼休みに廊下で元気な大声をたびたび耳にします。

Q 北校生にメッセージを！

A 高校生でいられるのは長い人生の中でもたった三年間しかありません。今しかできないこと、やりたいことを見つけ楽しく充実し、後悔のない高校生活を過ごしてください。

駐日ベラルーシ大使一行をご案内しました

4月20日（土）駐日ベラルーシ共和国特命全権大使ルスラン・イエシン閣下ご一行が被災地である名取市閑上地区の閑上慰霊碑訪問をされました。本校の渡部晴也（2年・閑上中出身）が東日本大震災当時の様子等を説明しました。閑上慰霊碑訪問にお出でいただきました皆様ありがとうございました。



ベラルーシ大使ご一行をご案内して 渡部晴也（2年・閑上中出身）

私は、4月20日（土）ベラルーシ大使ご一行が閑上にお出でになるということで、閑上の慰霊碑の前で東日本大震災時の様子や閑上の復興の様子を説明させていただきました。大勢の人の前で話をすることはこれまであまり経験がなく、また、ベラルーシ大使閣下にお話をすることでもとても緊張しました。皆様の真剣なお姿に私も精一杯の説明をさせていただきました。私が震災の経験から学んだ教訓をお伝えすることができたと感じています。このような貴重な経験は、今後の生活に活かしていきたいと考えています。閑上までお出でいただいたベラルーシの皆様ありがとうございました。



なとり春まつりに参加しました

4月13日（土）名取市役所を会場に開催された「なとり春まつり」で茶道部が野点を行い、ご来場の皆様にお茶とお菓子を披露させていただきました。



野点でお点前を披露して

茶道部部长 佐藤遙奈（3年・大河原中出身）

4月13日（土）に開催された「なとり春まつり」に茶道部が参加させていただきました。天候や桜の開花に恵まれ、晴天と満開の桜の下で野点を行うことができたのでとても運がよかったと感じました。

また、老若男女を問わず多くの方々にご来場いただきお茶を楽しんでいただけたと思います。このことは部員にとってもよい経験になったと感じています。今後は、この経験を生活の中で役立てていきたいと考えています。ご来場いただきました皆様ありがとうございました。



三校合同写真展示会を開催して

3月16日（土）に長町ララガーデンで白石高校・岩沼高等学園・本校の3校で合同写真展を開催しました。ご来場いただきました皆様ありがとうございました。



三校合同写真展示会に出展して

写真部部长 大谷梨紗（3年・岩沼西中出身）

今回、ララガーデンで合同展示会を開催しました。通常の展示はホールで行いますが、今回のようなショッピングモールへの展示はとても良い経験となりました。また、多くの方々に私たちの写真を見ていただきとても嬉しく思いました。



そして、他校の写真も見ることができ良い刺激となりました。来年度もこのような展示会を開催できるよう日々の活動に取り組みます。写真をご覧いただきありがとうございました。

